

# 「公共施設の大量更新問題」をご存じですか？

本市では、高度経済成長期以降に大量に建設された公共施設などが老朽化によって、一斉に更新の時期を迎えます。今後の市政を運営していく上で、公共施設の維持更新費用などの増加に向けて財源の確保が課題となります。

## 課題1 人口減少で税収が減少します

本市の総人口は、「四日市市人口ビジョン」(平成27年11月)の想定によると、2015(平成27)年現在の31万2,539人から、2035(平成47)年には30万人まで減少すると見込まれています。

人口構造においても高齢者人口の割合は増え、年少人口や生産人口の割合は減ると予想されています。これに伴い、**税収などの市の収入も減少していくと考えられます。**

■四日市市人口ビジョンに基づく人口推計

	2015年 312,539人	2035年 299,690人	
全体			-4.1%
高齢者人口 (65歳~)	24.5%	28.7%	+4.2%
生産人口 (15~65歳)	61.9%	57.8%	-4.1%
年少人口 (0~14歳)	13.6%	13.5%	-0.1%



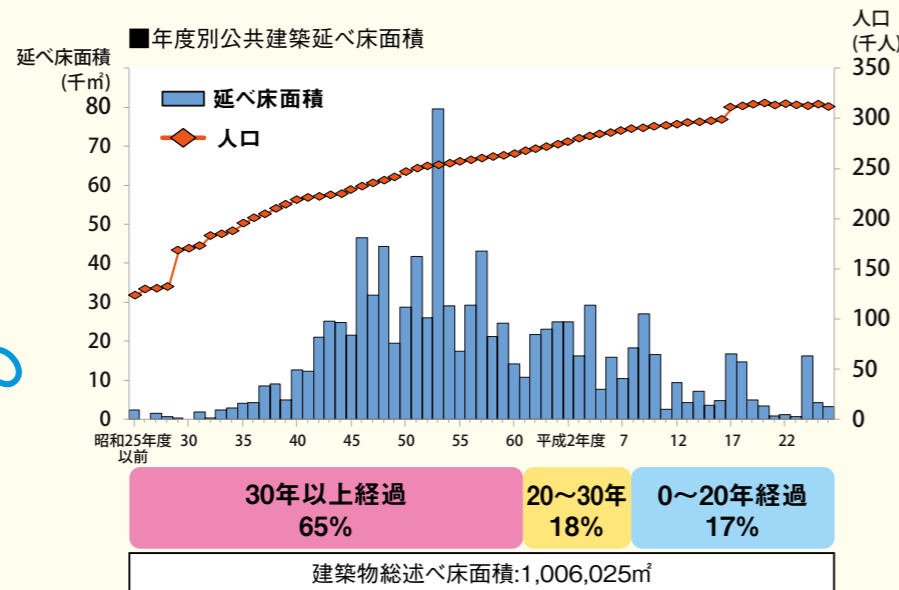
全体の人口減少と生産人口の減少の2つの問題があるんだね



## 課題2 公共施設が古くなっています

本市の公共施設は昭和40年代から50年代にかけて建てられたものが多く、**築30年以上経過した施設の割合は全体の65%を占めています。**

これらの施設は老朽化が進み、同時期に修繕や更新が必要になります。



古い施設が増えたら安全性は大丈夫かな

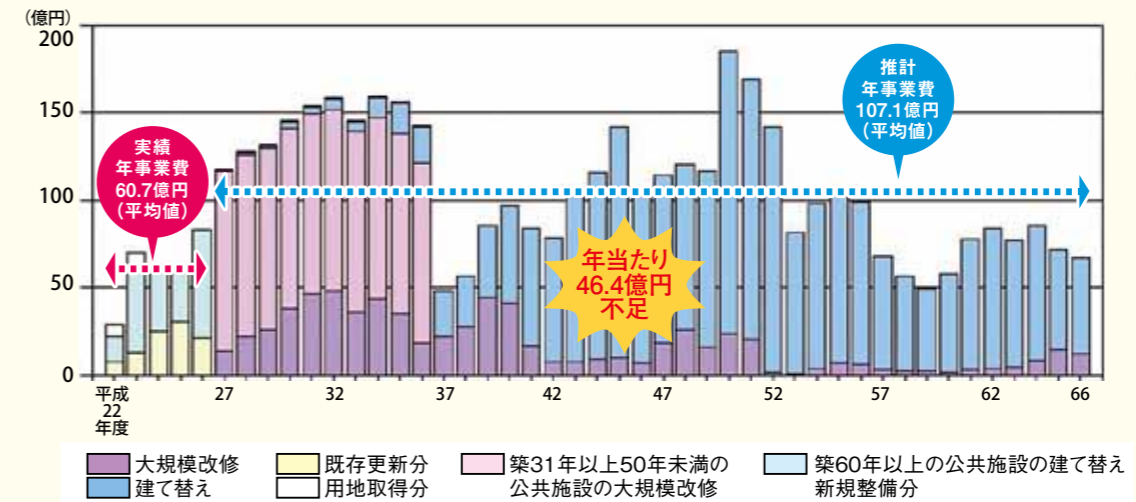


## 課題3 修理・建て替え費用が増えています

本市が保有する建物を現在の数や大きさのまま更新すると仮定した場合、今後40年間の費用はどのようになるのか、総務省が公開している「公共施設等更新費用試算ソフト」により推計しました。

この結果、今後、**毎年107.1億円の更新費用が必要となり、平成22年から26年までの改修費の平均値60.7億円の1.7倍の費用が必要となります。**これは市が教育に要する費用の約1年分に相当します。

■公共施設などの更新事業費の将来見込み

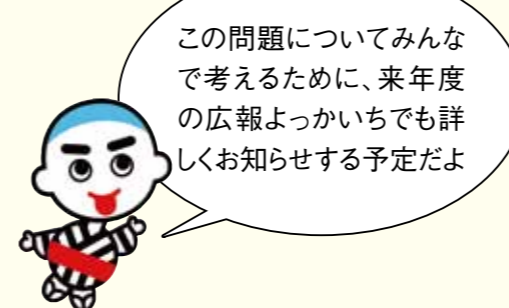


## 課題を解決するために管理計画を策定

このような課題を解決するため、保有する公共施設の長寿命化や転用、集約化などを計画的に行う必要があります。このことから、本市では財政負担を軽減・平準化するための基本的な方針を定めた「**四日市市公共施設等総合管理計画**」を策定しました。

本計画で定めた基本方針に基づき、公共施設などの長寿命化、維持管理に関する年次計画を策定し、財政状況を勘案しながら、費用の平準化を図った上で、着実に実行していきます。

※本計画の詳細は市ホームページ (HPID 1001000000484) をご覧ください



### 公共施設等総合管理計画の基本方針

#### 点検診断等の実施方針

自主点検、法定点検を確実に実施します。

#### 維持管理・修繕・更新等の実施方針

施設に不具合が生じてから修理をする「事後保全型」の維持管理から、計画的に施設設備の点検・修繕などを行い、不具合を未然に防止する「予防保全型」の維持管理へ転換し、維持管理費を縮減します。

#### 長寿命化の実施方針

定期的・計画的に保全工事を実施し、公共施設の長寿命化を図ります。

#### 保有施設の最適化方針

少子高齢社会の到来などの社会情勢の変化を踏まえ、転用、廃止、集約化、複合化などの方策を検討します。

#### 耐震化の実施方針

発災時に的確に機能を発揮できるよう、防災・耐震性能などの向上を図ります。

#### 安全確保の実施方針

点検・診断などにより施設の危険性が認められたときは、速やかに修繕・改修を行います。